

議会だより

定例会

令和7年第1回定例会は3月11日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 2月7日
- 調査事項 町道及び公共施設等の除排雪状況について
- 調査結果 指摘事項なし

同意

○北竜町表彰条例に基づく表彰について

- 渡邊 靖範 氏
- 川上 健康 氏
- 黄倉 桂子 氏
- 北清 裕邦 氏

原案可決

○町長の専決事項の指定についての制定について

○北竜町学校教育基本方針並びに北竜町学校等複合施設基本計画について

○令和6年度北竜町一般会計補正予算(第9号)について

○令和6年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

○令和6年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第6号)について

○令和6年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

○令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第6号)について

○令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第4号)について

○令和6年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第5号)について

○北竜町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について

○予算審査特別委員会付託案件
○令和6年度北竜町一般会計補正予算(第10号)

委員会報告

■ 調査期日 3月13日～17日

■ 審査事件 令和7年度予算審査会計(8会計)、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略について外

■ 審議結果 文書による指摘1件、口頭による意見3件を付与し、原案通り可決すべきものと決定する。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○食料安全保障の強化に向けた次期基本計画の改訂を求める意見書



活動報告

【4月】

- 1日：やわら保育園入園式
- 7日：北竜中学校入学式
- 8日：真竜小学校入学式、交通安全祈願祭
- 20～22日：市町村議会議員特別セミナー(林議員・沖野議員)
- 21日：農業振興協議会
- 24日：例月出納検査
- 25日：議会運営委員会・第3回北竜町議会臨時会
- 30日：総務産業常任委員会

活動予定

【5月】

- 16日：北竜町開拓記念式、北竜町商工会総会
- 27～28日：全国議長会議長・副議長研修会
- 30日：空知監査委員協議会定期総会
- 未定：北空知議会議長連絡協議会総会、例月出納検査

一般質問

3月11日に開会された第1回定例会では、5名の議員から6件の一般質問がありました。



澤田議員

学校等複合施設の建設とデジタル教科書による教育のあり方について

澤田議員
学校等複合施設の建設とデジタル教科書による教育のあり方について伺いたい。

1点目。小中学校統合による義務教育学校の開設と合わせ、北竜町公共施設を連動させる計画が進められている。検討委員会において、町民の意見を集約して纏められ、今の段階で、予算規模が50億円を超える大きな投資となっている。

少子高齢化の中で、町民の中には、北竜町の将来について財政的に本当に大丈夫なのか？と心配する声が多くある。町民の不安解消と理解を得る為に、その財政措置をどのようにするのか、地方交付税

学校等複合施設の建設とデジタル教科書による教育のあり方について

交付金と、新地方創生交付金を活用し、更に、地方債、刃地債、ふるさと納税、基金の活用等について、町民に納得して頂ける十分な説明が必要かと思う。

また、北竜町の学校の重要性を考えた時に、やれる時にやるべきと考えるが、町長の考えを伺いたい。

佐々木町長

小中学校等複合施設の建設について、近年の建設資材費の高騰、並びに人件費の高騰が、公共施設のみならず民間の施設建設にも多大な影響を及ぼしている。令和4年度策定の北竜町公共施設等再配置計画により、数多くの町民の皆様よりご意見を賜り、北竜

町学校等複合施設基本計画が策定された。

今回の整備計画では、概算で50億1千万円を見込んでおり、事業費の高騰を年3%と見込んで、建設予定の令和9年度の事業費は55億9千万円と成る。但し現時点での基本設計に基づいて算出したものであり、その重要度や必要性に応じた見直しを行うっていく。

澤田議員

2点目。デジタル教科書について、国は生徒1人に1台の端末機器の配布で情報通信技術の改善がされたとして、デジタル教科書も認めることとした。次期の学習指導要綱が実施される2030年度に導入を目指すとのこと、人口減少が進む中、学校現場でのデジタル化による効率化は必要な事だと思ふ。

しかし、人の一生に関わる長い人生の学びの中で、そのメリットとデメリットについて、充分精査をして取り組む必要があると考える。デジタル先進国のスウェーデンやフィンランドでは、デジタル教

科書の見直しを行い、脱デジタル化を進めているとのこと。集中力と記憶力欠如、身体的には首や肩こり、又視力の低下等の悪影響が指摘されている。基本的な読み書きや考える力を養う為には、デジタル化だけでなく、北竜町独自の教育方針が必要なのではないかと思うが、理事者の考えを伺いたい。

田中教育長

文部科学省では、令和3年4月から各教科の授業時数の2分の1未満としていたデジタル教科書の使用制限を撤廃している。

GIGAスクール構想の下で、学校におけるデジタル教材や学習支援ソフトウェア等の導入が加速しており、教科書のデジタル化により、学びの充実に繋がると考えている。

また児童生徒の将来の社会生活の変化等を見据えながら、デジタル教科書を単なる読むだけのものでは無く、使いこなし、教師と児童生徒が、共に情報を探して、使った教材に成って行く事も考え

られる。

しかし、デジタル教科書にはメリットとデメリットが有る。デメリットとしては、各家庭での教材の費用負担の増加や、御指摘の様に、考える力や知識の定着等、課題があり、当面は、紙とデジタルとの併用が必要と考えている。

今後、デジタルのメリットとデメリットについて、調査、検討しながら対応して参りたい。

澤田議員

義務教育学校と公共施設の再配置計画について、人口減少や資材高騰等、厳しい時ではあるが、北竜町の将来を考えた場合、やれる時に積極的に投資する事で、町の活性化に努めるべきだと考える。





寺垣議員

北竜町のインフラ整備について

寺垣議員

昨年、国内でインフラの劣化が起因とされる事故が多発し日常生活や経済活動が脅かされている。当町においても近年農業用水路等の配管破損により農作業に大きな支障を及ぼしている。

日常生活の基盤であるインフラ整備は急務であると考え、町としてのインフラ整備の優先順位について理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

道路については、町道の主要路線22kmについて5年に1度の路面性状調査、その他路線道路も随時パトロールを行い異常が発見された場合には速やかに応急工事を行う予算を確保している。又、町の管理下にある橋梁の42橋についても5年毎の点検を行い、破損の大きい橋から19橋の補修工事を行い、本年度においては岩村橋補修工事を予算計上

している。

上下水道については、管路延長53・8kmのうち、合計18・1km、33・6%の管路更新、横断管更新を行ってきたところだが、耐用年数40年を超える管が32km残っており、全ての管を更新するためには概算で約48億円程度かかると見込んでいます。

特に漏水リスクの高い部分を把握するための漏水調査を委託し、その都度補修工事をおこなっている。令和7年度では経営戦略の策定の一環として、料金改定を含めた事業計画の検討を行う予定としている。

下水管については、毎年継続して管内のカメラ調査を行い、総延長13・6kmのうち8・6km、63・2%を調査済みであり、不具合があればその都度補修を施し維持に努めている。

調査の実施に当たっては管

内の土砂の侵入なども把握する事ができ、土砂流出による地上の陥没等も未然に防ぐ効果も期待できると考える。

また、ダムや農業用水などの施設についても改良区と連携を図りながら国の補助事業を活用し補修工事等を行っているところだが、近年発生した用水幹線事故の方途として、国の予算で用水施設等の調査点検を強化していく方針が示され、町としても引き続き強く要望していきたいと考えています。

以上、定期的なインフラの点検調査を行い必要とされる補修工事は他の事業に優先して予算を確保してきた。今後に限られた予算で最大の効果が発揮できるよう、リスクの大きさと調査補修費用とを総合的に判断し国の補助事業も活用しインフラの維持管理に努めていく。



尾崎議員

動物愛護のまちづくりについて

尾崎議員

去年の暮れに北竜町内で動物愛護団体の協力をいただいた野良猫事案が起きたことに関して、愛護を必要とする犬や猫等の生き物に対して、責任持った意識と迅速な対応を町全体で広く共有することは、これからの動物愛護の視点からはもちろん、人間関係をも含めた豊かなまちづくり

に繋がると感じているところである。

今後、北竜町で保護すべき犬や猫等の多頭飼育崩壊や野良猫が増えて放置された場

合、どのような対策を講じるか伺いたい。

佐々木町長

昨年末には町内で屋外で餌付けをした結果、野良猫が住み着き近隣住民から苦情が寄せられる事案が発生したが、動物愛護団体の協力をいただき速やかに解決することができました。

今後もし町内でそのような事態が起こった場合は、この度の処理の流れに沿い、迅速に対応する。また広く共有できるよう、広報や啓蒙をしていく。



尾崎議員

農産物直売所「みのりつち北竜」の将来展望について

尾崎議員

今年で開設13年目を迎えるが、運営や販売実績において

生産者の減少や高齢化等の要因で、生産物の種類も数も先細りが深刻で将来性ある見通

しが見えない。

直売所を存続していくためには生産者の生産、販売意欲を高め、地元の豊富な農産物を揃え「町の台所」として、温泉の入浴帰りに買い物に立ち寄れる交流の場所として等、多角的な可能性と親しみを持てる場所になってほしいと願うところである。

「みのりつつち北竜」が成長していくためには思い切った対策が必要と思うが、どのような将来展望をお持ちか理事者にお尋ねする。

佐々木町長

「みのりつつち北竜」は、作りの顔の見える農産物を提供できる、新鮮で美味しい地元野菜を目当てに立ち寄る場所として、町としてもその潜在能力には期待しているところである。

顧客獲得のためにフェイスブック等の発信を行っているが、引き続き振興公社と連携し、メディア発信の強化を検討したい。また、商品の欠損対応は出荷者協議会でのLINE等を活用して解決を図る協議をしていただいたと聞いている。

尾崎議員

現在、温泉と出荷者協議会の役員で運営に関する会議を行っているが、販売報告と今後の日程を協議するくらいで、集まる意味も感じられないため役員のなり手もない。直売所運営をあらためて構成し直して、生産者には出荷に専念させていただけませんか。

去年の10月に研修させていただいた宮崎県綾町では、豊かな自然の中で町民の健康の維持、食生活の改善の一環として自給自足運動を広げ、家庭菜園による野菜作りを提唱

することから始まったという。

直売所に野菜作りの専門員や販売に地域おこしを募集したりして、町としての力添えをいただけませんか。

佐々木町長

現在目指す地方創生2・0の構成の中には「みのりつつち北竜」も含まれており、期間限定のマイナス面もあるが工夫次第でやれる要素を持っている。現在バラバラの動きを、ひとつの共通点を持つみんなで共有する発信プロジェクト要素として、4月から再構築していこうと考えている。



沖野議員

町内会会館の営繕について

沖野議員

会館を保有している町内会が多数あり、老朽化している会館もある。営繕に関しては、地区公民館に指定の会館は町費でまかなわれているが、指定外の会館では軽微な改修や備品購入など町内会の負担で行われている。

れてなく申請基準も曖昧と感じる。備品などにも使いやす

くするためにも下限の廃止と内容によっては100%に近い助成の考えはないか、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

コミュニケーションセンターについては、町内会にて施設維持管理を行っていただいている。施設維持管理に係る経費については、町内会で負担を頂き、修繕で大きな負担が発生する際には、基準を事業費25万円下限とし、補修は3/4を、備品購入は1/2を町が助成することを、町条例でも明記している。また交付対



林議員

ごみ収集運搬業務の今後について

林議員

現在委託事業で実施しているごみ収集業務の今後について、現在の町内の委託事業者が体力的な問題等もあり何年請け負ってもらえるかわからない状況であると聞く。

象や交付方法についても事務取扱を定め、補修の相談があった際には対応している。

沖野議員

元々は壁や屋根などの大規模修繕補助をするための設定と思われるが、老朽化したトイレやストープなどの交換などは下限に届かないが高騰も続いている。

インターン生などの宿泊なども受け入れている会館もあり、まず下限を検討してほしい。

佐々木町長

小規模修繕に対応できていないのは事実なので今後検討する。

他町の業者に委託をする場合、現在の委託料より大幅な増額をしなくては事業者が請け負えないことも考えられる。今後も町内事業者での事業継続のために町としてできることはないのか。理事者の



考えを伺いたい。

佐々木町長

ごみの収集業務は、町民が安心して生活するために必要不可欠な業務である。現在、本町のごみ収集業務は北竜段ボール株式会社へ委託し実施している。引き続き収集運搬業務を受託して頂けるよう、ごみ収集車の更新に対する支援や、委託料の増額も今後協議していく。できる限り町内の事業者が、ごみ収集運搬業務を継続していけるよう町としても最大限努力していく。

林議員

もう1件、ごみ関係で町内の方から町内のごみステーションの設置基準について聞きたいと話があった。新規の設置をしたい場合、維持・補修の負担はどういう状況なのか伺いたい。

細川住民課長

ごみステーションの設置基準は設けていないが、今以上にごみステーションを増設する事は考えていない。また修理が必要な場合は補修し、破損が酷い場合は新規で購入している。

議員の賛否の公表

(北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和7年第1回定例会 (会期：3月11日～18日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
北竜町表彰条例に基づく表彰について (4名)	○	○	○	○	○	○	○	-
町長の専決事項の指定についての制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町学校教育基本方針並びに北竜町学校等複合施設基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町一般会計補正予算 (第9号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算 (第6号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町介護保険特別会計補正予算 (第3号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算 (第6号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算 (第4号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町簡易水道事業会計補正予算 (第5号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度北竜町一般会計補正予算 (第10号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	-

予算審査特別委員会 (3月13日～14日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町課設置条例の全部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町ひまわりの里の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○

北竜町個別排水処理施設管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町農業集落排水処理施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町簡易水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (老人福祉センター)	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (玄米ばら調製集出荷施設)	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和7年度北竜町簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
予算審査特別委員会における質疑の件数	質疑 5件	質疑 0件	質疑 7件	質疑 1件	質疑 4件	質疑 17件	-	質疑 9件

予算審査特別委員会における議員質疑（意見付与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
<p>・危険な空き家対策について 現在、北竜町は冬の積雪により危険と判断される空き家が2件放置されている。所有者に対し、行政として再三申し入れを行い注意喚起しているが具体的な対応は取られていない。今後、事故等不測の事態が発生した場合、行政訴訟の対象となることも考えられることから、更に厳しく指導されたい。</p>	<p>家主とも連絡が取れるので更に厳しく対応したい。今年度を解決の期限として交渉する。順序を踏んで対応していく。</p>
<p>・児童・生徒の活動支援等事業について 教育委員会として児童・生徒に対して活動助成をしているが、近年の少子化により町内だけでは十分な活動が出来ず、近隣自治体と合同での活動や各種大会への参加など保護者負担が増大している。少ない子ども達の健全な育成のためにも、十分な助成措置を講じられたい。</p>	<p>少年団活動支援については試算をして検討する。送迎の関係や中学校の部活もあるので、内容を変更していきながら検討していく。</p>
<p>・町立歯科診療所運営事業について 人口減少と公共交通機関の不足等の要因により診療報酬の減収が続いている。歯科医療は内科医療と同様に大変重要な医療機関であり、町としても継続した医師確保が最重要課題である。現在、歯科医療に精励されている医師と十分協議され、今後も北竜町で歯科医療を継続できる方策を検討されたい。</p>	<p>契約書があるが、その内容についても協議を進めながら検討する。</p>
<p>・ひまわりホールディングスについて 自治体としては他に例を見ない画期的な取り組みと評価できる。北竜町が、今後とも自治体としてあらゆる方策をとり「まちを経営する」という基本理念のもと、たゆまぬ努力をされたい。町民と共通意識のもと進めなければいけないものであり、町民理解の徹底を図られたい。</p>	<p>今回の計画は、これからの北竜町の目指す姿である。町民全員で取り組まないと出来ない事業である。町民理解を得るためにしっかり説明して行きたい。</p>



議員 コラム

5月ですね。卒業・入学、就職などで一段落した頃でしょうか？

農業は、今が真つ盛りの大仕事な時期ですね。秋の収穫までの1年の成果を決める真剣勝負の時期、事故やケガには十分気を付けて頂きたいと思っています。

北竜町も、今、町の将来の方向付けを決める重要な時に来ています。佐々木町長も「このままでは、マチが立ち行かなくなる」という危機感を持っていて、まさに「大転換」と言える取り組みに挑戦しています。

今年の町の全体予算は、4月広報で見たいと思います。とても大きな予算となっています。これは、国の新たな地方創生施策「地方創生2・0」をいかに有効利用するかを考えて、町が行う事業をできるだけ国からの交付金や補助金

を活用する計画なので大きな額になるという訳です。

今の人口が1,600人弱ですが、町としての存続を図るために、将来は北竜町に来る観光客も含めて、北竜町に関わる人を「関係人口」として1,600人規模を維持するという取り組みを考えています。

議会も2月に、初めて「カフェ方式」で議会報告会・懇談会をしました。

ざつくばらんに懇談できて、色々な課題が話し合われて大変良い感じの懇談会になりました。年に何回かやっても良いのではという声も聞かれましたし、議員として各種研修や視察などありますが、得られた情報を伝えると云う意味でも良いのではと思います。

議員がみなさんに「伝える」ということが大きな役割と想っています。(澤田 正人)